5代将軍綱吉と新井白石の政治

ポイント１　徳川綱吉の政治

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 文治政治への転換

武断政治期	初代〜3代将軍	武力による大名の統制
文治＿＿**政治期**	4代〜7代将軍	**朱子学**＿＿による大名の統制
幕末革命期	8代〜12代将軍	将軍・老中による幕政改革
幕末期	13代〜15代将軍	開国と幕府の滅亡

特に5代将軍徳川＿**綱吉**＿は儒学や礼節を重視し，社会の安定をはかった

② 朱子学の重視

儒学の中でも＿**朱子**＿学を重視することで

文治政治の基本となる身分制の維持を目指す

武士	将軍，大名，直参（旗本・御家人），藩士など
百姓	農民（本百姓・水のみ百姓），山民，漁民
町人	職人（親方・徒弟） 商人（主人・番頭・手代・丁稚）
被差別身分	えた，ひにん

本家と分家，家長（戸主）とその他の家族，

長男とそれ以外の兄弟などをはっきりと分ける

男尊女卑の風潮も強かった

③ 文治政治の展開

湯島聖堂と聖堂学問所：朱子学の中心となる

＿**生類憐みの令**＿：犬を中心とする極端な生物愛護を命じる

何度も繰り返し出され社会が停滞

文治政治の展開，明暦の大火後の＿江戸＿の復興，
金・銀産出量の激減，大寺院の造営・修築など
↓
財政難になった幕府は 金の量を減らした貨幣（元禄小判）に改鋳
↓
結果：貨幣の質の低下と物価の上昇に加え，富士山の噴火などもあり社会や経済が混乱

将軍の綱吉は政治に興味を失い側用人に任せがちだった

ポイント 2 新井白石（あらいはくせき）の「正徳の政治」

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

6代・7代将軍に仕えた儒学者（じゅがくしゃ）の＿新井白石＿と側用人による「正徳（しょうとく）の政治」が行われる

幕府財政の立て直し	貨幣の質を元に戻す 長崎貿易を制限して金銀の海外流出を防ぐ （海舶互市新例・長崎新令）
生類憐みの令の廃止	社会の停滞と混乱を収める
朝鮮通信使（ちょうせんつうしんし）の待遇簡素化	将軍の権威を高める

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 5代将軍の徳川綱吉の時代に特に広く学ばれるようになった，主従関係を重視する学問を何というか。　＿＿＿＿　朱子学

(2) 5代将軍の徳川綱吉が出した，動物愛護を命じる法令を何というか。　＿＿＿＿　生類憐みの令

(3) 5代将軍の徳川綱吉が行った，儒学や礼節を重視し，社会の安定をはかる政治を何というか。　＿＿＿＿　文治政治

(4) 18世紀の初めの徳川家6代・7代将軍のころ，政治を中心的に担った儒学者は誰か。　＿＿＿＿　新井白石